

# 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
担当課長名：東 智徳

事業名	しょうわおほしおおご 昭和大橋大胡線		事業区分	街路	事業主体	群馬県
起終点	起点：群馬県前橋市東善町 終点：群馬県前橋市小屋原町			延長	0.6 km	
事業概要	都市計画道路昭和大橋大胡線は、前橋市南部を東西に貫く幹線道路であるほか、関越自動車道や北関東自動車道へアクセスする重要な路線である。昭和大橋大胡線街路事業は、現在2車線で歩道のない区間を4車線に拡幅整備するものである。					
S62年度事業化	S62年度都市計画決定	S63年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	33億円	事業進捗率	87%	供用済延長	0.5 km	
計画交通量	28,900台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体)2.0  (残事業)2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 0.4/45億円 事業費：0.4/45.1億円 維持管理費：0.0/0.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 9.1/89億円 走行時間短縮便益：7.7/81.8億円 走行費用減少便益：0.3/3.3億円 交通事故減少便益：1.1/4.2億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（駒形交差点の渋滞が緩和される）</li> <li>国土・地域（前橋市南部地域から中心市街地へのアクセス向上が見込まれる）</li> </ul> <p>他5項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	本路線の整備により、市街地への通過交通の流入を防ぐことができるほか、前橋市駒形町地内の慢性的な渋滞が緩和されるため、本区間の早期整備を地元首長から要望されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	北関東自動車道の開通により、インターチェンジへのアクセス道路としての役割が高まっており、駒形町地内の交差点においては慢性的な渋滞を引き起こしている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部用地買収交渉が難航しているが、現在までに約0.5 kmの整備を完了し供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残用地取得後、速やかに工事着手し早期供用を図る予定である。					
施設の構造や工法の変更等						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。